公共施設の活用を検討する方へ

公共施設活用の判断整理シート

あさぎり町· 旧上庁舎跡地の記入例

2026年10月2日の合同WGで示された検討を、公開資料から整理した記入例です。町が作成· 承認した資料ではありません。

地域の目的	若者の定住とUIJターン者の受入体制を整える。町の総合計画の関連施策と、住まいの確保を対応させる。[1][2]
対象施設の役割	旧上庁舎跡地での定住促進住宅整備を先行して検討する。後続の廃校· キャンプ場とは、需要と運営の条件を分けて確かめる。[3]
比べる選択肢	比較案：住宅整備を先行 / 複数用途を一体で検討 / 着手を保留。初期費用、将来負担、需要、実施体制を同じ範囲で比較する。以下は整理方法の提案。
事業の成立条件	入居対象· 需要と退去リスク、住宅の法制度上の位置付け、整備· 維持· 終了時の費用、官民の負担範囲、運営体制を確かめる。公募条件や資金の確定を意味しない。[2]
成果の確かめ方	短期は入居· 利用の状況、中長期は居住の継続と住み続ける条件を確認する案。入居数だけで町全体の定住効果とは判断しない。目標値· 測定期間は未設定。
次の確認· 判断	公募条件を固める前に、需要、町の負担、法制度、役割を整理する。確認先案：施設所管· 財政等の担当部署、事業者、建築· 法務の専門家。不足時は範囲や時期を見直す。

確定した事実と提案· 未確認を分けて記入してください。空欄や未確認を、実現性· 費用の問題がないことと扱わないでください。

[1] 第3次あさぎり町総合計画· 概要版 / 基本施策（PDF3ページ）

[2] あさぎり町· 官民連携手法の導入可能性調査報告書（2026年3月）/ 14〜18、156〜158ページ

[3] 第1回合同WG公式開催レポート#1 / あさぎり町の検討方針

作成：一般社団法人 社会構想デザイン機構（ISVD）2026年11月16日